

⑬日本国特許庁

⑭特許出願公開

公開特許公報

昭53-71380

①Int. Cl.²

B 25 C 5/00

B 26 F 1/32

識別記号

②日本分類

73 C 11

74 C 211

庁内整理番号

7108-39

6763-33

④公開 昭和53年(1978)6月24日

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑤複数パンチホッチキス

⑦発明者 三橋良夫

横浜市旭区東希望が丘79番地

①特. 願 昭51-146717

⑧出願人 三橋良夫

横浜市旭区東希望が丘79番地

②出 願 昭51(1976)12月7日

明 細 書

1、発明の名称

複数パンチホッチキス

2、特許請求の範囲

内部に紙屑受けを設けた台盤の上面に、先端部に綴針の曲台と中間部にパンチ孔を設けた複数のベースを並設し、その上方に、掛合部を形成すると共に中間部に前記パンチ孔に嵌入するパンチ軸を設けた複数のフレームと、更にその上方に、前部に押刃を形成した複数のハンドルパネを固設したハンドルとを、後部において軸により回転自在に枢着し、一方のフレームに、一辺を開放し後部に掛止突起を形成すると共に内部に掛爪を設けた箱形断面状の綴針後退枠を装着すると共に、複数のフレームとハンドル間に、両端部に掛止部を形成し中間部に指掛け部を設けた掛止体を作動可能に装着して成る複数パンチホッチキス。

3、発明の詳細な説明

本発明は極めて簡単な構成により、1個または複数の紙綴りと、複数の穿孔がそれぞれ別個に確

実に行えろと共に、紙綴りと穿孔の切替えが、ワンタッチの操作でできるようにした、複数パンチホッチキスを提供することを目的とするものである。

以下本発明の一実施例について説明すると、内部に紙屑受け1を設けた台盤2の上面に、前部に曲台3を設け、中間部にパンチ孔台4、及びパンチ孔5並びに用紙の差込口6を設けた複数のベース7を装着し、その上方に、前部部に掛合部8と、綴針打出し孔9を設け、中間部にパンチ軸10を固設し、後部に耳片部11を形成すると共に、内部に綴針12を押進する針押具13を内装した複数のフレーム14を装着し、更にその上方に、前部に押刃15及び止パネ22を形成した複数のハンドルパネ16を固着したハンドル17を、ベース7、フレーム14と共に、それぞれの後部において、前記パンチ孔5上面の後方延長面と、フレーム14の下面の後方延長面の交線位置において、軸18により枢着する。

次に、穿孔作業の際に綴針12が押し出されな

いようにするため、フレーム14とハンドル17を相対位置に掛止するため、両者間に掛止体19を装設する、該掛止体19は第1図に示すごとく板状の両端にフレーム14の掛合部8と掛合する掛止部20を形成すると共に、中間部に指掛け部21を設け、更に両端上部に透孔23を穿設し、該透孔23を第2図示のハンドルバネ16の先端に形成した止バネ22に嵌挿して、掛止体19の下方が前後に揺動できるようにハンドル17に装着する。

次に複数のホッチキス装設を、同一ハンドル17により押圧するように構成した本発明において、一箇所のみを紙綴りする際に、他方のフレームから綴針が押し出されないようにするため、複数のフレーム14の一方に、綴針の後退装設を設ける、この綴針後退枠24は、第3図及び第4図に示すように、一方の側部を開放している箱形断面状に形成し、後端部にフレーム14に設けた掛止溝25及び掛止段部26に掛止する掛止突起27を形成し、更に該枠24内に、第4図に示すように綴

(3)

針26に落ち込んで、第4図に示すごとく綴針12が後退した位置に停止され、綴針打出し孔9上は空隙となる。

この状態でハンドル17を押し下げると、第1図のように綴針後退枠24が装設されているほうの右側のホッチキスは、押刃15が前記の空隙部に挿入されるため空打ちとなり、左側のホッチキスのみが押刃15により綴針12が押し出されて紙綴りができる。

作業終了後綴針後退枠24の後部を上方にあげて、掛止段部26に落ち込んでいる掛止突起27の掛合をはずすと、引張りコイルバネ32の牽引力により綴針12が前進するのに伴って綴針後退枠24も前進して第3図の実線位置に復帰する。

次にパンチとして孔あけを行う場合は、第1図に示すように、ハンドル17前面の窓孔34より露出している掛止体19の指掛け部21を、指先で後方に押圧して、両端の掛止部20を第2図に示す点線位置に移動させた後ハンドル17を押圧すると、掛止部20がフレーム14の掛合部8に掛

(5)

特開昭53-71380(2)
針12を引掛けて後退させる掛爪28を設け、この掛爪28をフレーム14の前端に設けた切欠溝29に滑動可能に挿嵌する。

なお図において、30は綴針後退枠24の押刃部、31は板バネ、32は針押具13の引張りコイルバネ、33は同案内溝、34はハンドル前面の窓孔である。

本発明は上記のように構成したものであるからホッチキスとして紙綴り作業を行う場合は、第2図に示すように、掛止体19が図において右方の実線位置に寄せてある開放状態のとき、ハンドル17を押し下げると、押刃15がフレーム14内に挿入されて複数の紙綴りができる。

次に一ヶ所のための紙綴りを行う場合は、第2図及び第3図に示すように綴針を後退する綴針後退枠24が、前方位位置にあつて開放状態のとき、綴針後退枠24の押圧部30を指先で押圧後退させると、切欠溝29内にある掛爪28が綴針12を後退させると共に、掛止溝26内の掛止突起27が後退して、第2図の点線に示すように掛止段部

(4)

合するため、ハンドル17とフレーム14が掛止されたままフレーム14が降下して、カード(図示なし)に複数の穿孔を行うことができるものである。

なお前記各実施例において、掛止部20と指掛け部21よりなる掛止体19と、フレーム14の掛合部8より成る掛止装置は、必ずしもこのような構造に限定されるべきものでなく、複数のフレームと、その上方に装設されたハンドルとを、掛止及び解除するものであればどのような構造のものでも差支なく、また綴針12の後退装置についても、綴針12を後退させて綴針打出し孔9上に空隙部を生じさせるものであれば、どのような形状のものでも良い。

本発明は上記のように、ハンドルを押し下げることにより複数の紙綴りができ、また掛止体を作動することにより複数の孔あけが行えるばかりでなく、必要に応じて、綴針後退枠を押圧後退することにより一箇所の紙綴りもできるので、事務効率の向上に役立つのみならず、ホッチキスとパン

(6)

第1図

を別個に備える必要がないため、収納に無駄な場所をとらないという経費の節約となり、しかも構造が簡単のため部品及び材料費も少なく、このため製作組立てが容易で安価に提供できる等、極めて顕著な利点と効果を有するものである。

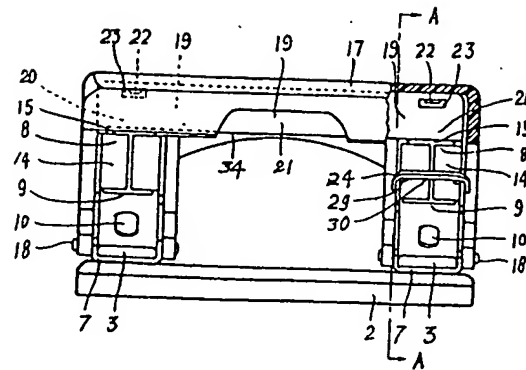
4、図面の簡単な説明

第1図は本発明の複数パンチホッチキスにおける一部縦断正面図、第2図は第1図A-A線断面図、第3図は要部の拡大断面図、第4図は同綴針を後退した状態の拡大断面図である。

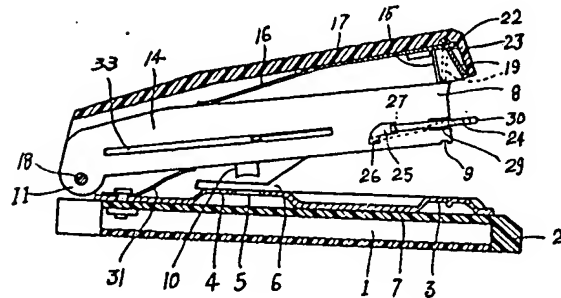
2...台盤、5...パンチ孔、7...ベース、8...掛合部、10...パンチ棒、13...針押具、14...フレーム、15...押刃、16...ハンドルバネ、17...ハンドル、18...軸、19...掛止体、20...掛止部、21...指掛け部、...止バネ、23...溝孔、24...綴針後退枠、25...掛止溝、26...掛止段部、27...掛止突起、28...掛爪、30...押圧部、32...引張りコイルバネ、34...窓孔。

特許出願人

三橋良夫

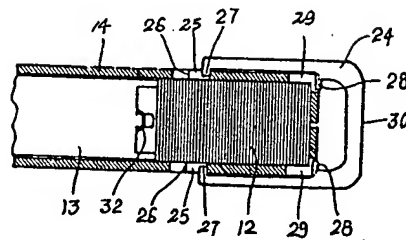


第2図



(7)

第3図



第4図

